

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2003-12833 (P2003-12833A)
 【公開日】平成 15 年 1 月 15 日 (2003.1.15)
 【出願番号】特願 2001-194697 (P2001-194697)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 J 5/18
 B 2 9 C 61/06
 // B 2 9 K 67:00
 C 0 8 L 67:02

【F I】

C 0 8 J 5/18 C F D
 B 2 9 C 61/06
 B 2 9 K 67:00
 C 0 8 L 67:02

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

熱収縮性ポリエステル系フィルムにおいて、
 多価アルコール成分 100 モル%のうち、1, 4 - シクロヘキサジメタノール成分が
 10 ~ 50 モル%、ポリテトラメチレンエーテルグリコール成分が 0.3 ~ 15 モル%、
1, 4 - ブタンジオール成分が 5 ~ 40 モル%であり、
 10 cm × 10 cm の正方形に切り取った熱収縮性ポリエステル系フィルムの試料を
 、85 の温水中に 10 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き
 上げたときの最大収縮方向の熱収縮率が 20 % 以上であり、
フィルムの最大収縮方向についての熱収縮試験を、90 の熱空气中、試験片幅 20 m
m、チャック間距離 100 mm の条件で行ったとき、最大熱収縮応力値が 3 MPa 以上で
あることを特徴とする熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項 2】
 ポリテトラメチレンエーテルグリコール成分の分子量が 500 ~ 2000 である請求項
 1 記載の熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項 3】
 多価アルコール成分のうち、1, 4 - シクロヘキサジメタノール成分、ポリテトラメ
 チレンエーテルグリコール成分、及び 1, 4 - ブタンジオール成分の合計量が 70 モル%
 以下である請求項 1 または 2 に記載の熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項 4】
 フィルムの最大収縮方向と直交する方向についての引張試験を、複数の熱収縮性ポリエ
 ステル系フィルム試験片について、チャック間距離 100 mm、試験片幅 15 mm、温度
 23、引張速度 200 mm / 分の条件で行ったとき、破断伸度 5 % 以下の試験片数が、
 全試験片数の 10 % 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の熱収縮性ポリエステル系
 フィルム。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の熱収縮性ポリエステル系フィルムから得られたものであることを特徴とする収縮ラベル。